

第39回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

優 勝 豊上ジュニアーズ
準優勝 リトルイーグルス
第三位 野菊野ファイターズ
第四位 高野台ジャガーズ



開催期間 令和元年11月～令和2年2月

主 催 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 運営委員会
後 援 柏市・流山市・野田市・松戸市 各少年野球連盟
株 式 会 社 カリフ・柏 食 品 株 式 会 社
ダイワマルエス株式会社 朝日スポーツキッズ
流山ボーイズ

ボールが飛んだ。
ここも弾んだ。



「カキーン！」

その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。



本大会使用球
MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

第39回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

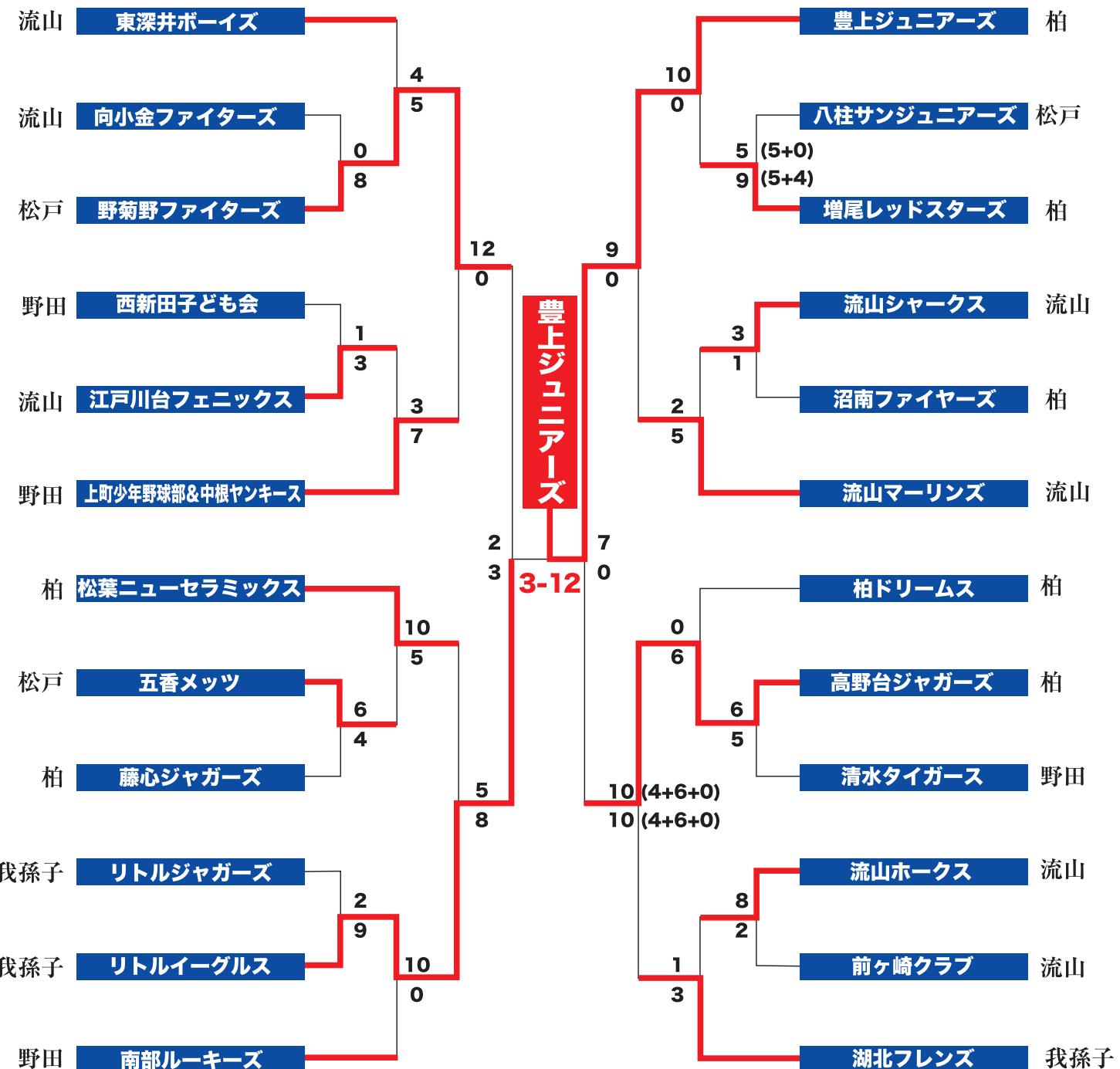
目 次

伝統ある二本の優勝旗（写真）	1
第39回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 決勝大会成績表	2
決勝大会 概評	3
~~~~~	~~~~~
ベスト4チーム（写真）	5
大会スナップ写真	7
~~~~~	~~~~~
ブロックリーグ戦 成績表	18
ブロックリーグ戦 概 評	24
~~~~~	~~~~~
第39回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会出場チーム	27
新聞掲載記事「朝日スポーツキッズ」	28
令和2年2月29日 No.304	
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 歴代ベスト3	29
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会開催要項（平成30年一部改正）	30
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会役員名簿（令和元年11月改選）	33
第39回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会会計報告	34
~~~~~	~~~~~

※写真提供は、(株)共同写真企画及び大会出場のベスト4チーム



第39回カリフ・マルエス旗争奪少年野球 決勝大会成績表



※高野台ジャガーズVS湖北フレンズは、延長戦でも勝負がつかず、抽選で高野台ジャガーズが勝利。

三位決定戦
野菊野ファイターズ 3-2 高野台ジャガーズ



☆ ★ 決勝大会概評 ★ ☆

豊上ジュニアーズ全試合大勝で連覇

実力安定したベスト4チーム

68チームが参加して開催された第39回カリフ・SBG旗争奪少年野球大会は、令和元年11月から12ブロックに分かれてリーグ戦を行い、各ブロックの上位2チーム、合計24チームによって令和2年1月25日と26日、2月2日、9日の4日間にわたって決勝大会が行われた。

今年度の決勝大会は、1月中旬に襲来した台風の影響で、メイン会場の野田河川敷グランドが水没して使用不能となったことから、初日の1月25日は野田市の鶴奉グランド（3試合）、清水台小（1試合）、流山ホークスグランド（3試合）、我孫子市少年野球場（1試合）に分散して1回戦8試合を行った。さらに、2日目の1月26日以降も分散開催を余儀なくされ、初日のシードチームと対戦する2回戦8試合は、野田市の鶴奉グランドで3試合、我孫子市の湖北小と柏市の大津ヶ丘球場で各2試合、柏市の富勢西小で1試合を行った。

そして、ベスト8が揃った準々決勝の4試合は、2月2日に流山市のおおたかの森スポーツフィールドA、B面で行われ、最終日の2月9日は準決勝戦2試合と三位決定戦及び決勝戦を前週に統いて流山市のおおたかの森スポーツフィールドで開催して終幕した。

決勝大会を振り返ると、初日の鶴奉グランドで行われた3試合のうち、西新田子ども会 vs 江戸川台フェニックス戦、流山シャークス vs 沼南ファイヤーズ戦はともに接戦で、江戸川台フェニックスと流山シャークスがそれぞれ3-1で勝利し、五香メッツ vs 藤心ジャガーズ戦も僅差の2点差で五香メッツが勝利した。しかし、その他の各グランドで行われた5試合は、勝利チームの圧勝に終わった。

この結果、初戦を突破して2回戦に勝ち進んだチームは、野菊野ファイターズ、江戸川台フェニックス、五香メッツ、リトルイーグルス、増尾レッドスターズ、清水タイガース、高野台ジャガーズ、流山ホークスの8チーム。

続いて行われた二日目の試合は、全て初戦がシードとなったチームの出場で、東深井ボーイズ vs 野菊野ファイターズ戦が1点差の5-4で野菊野ファイターズが勝利したのと、湖北フレンズが3-1で流山ホークスを倒した以外の6試合は、上町少年野球部・中根ヤンキース連合チーム、松葉ニューセラミックス、リトルイーグルス、豊上ジュニアーズ、流山マリーンズ、清水タイガースがそれぞれ圧勝した。

ベスト4進出を賭けて対決した三日目2月2日の4試合では、高野台ジャガーズ vs 湖北フレンズ戦が最高の好試合だった。4対4のタイスコアから結局勝負つかずタイブレークとなって、特別回にお互いに4点ずつ挙げたが決着つかず、最後は抽選による勝負となって高野台ジャガーズが勝利した。敗れた湖北フレンズにとっては最後まで粘って大健闘だったが、これは不運

としか言いようがなかった。

その他の3試合では、シードで2回戦からの出場となった豊上ジュニアーズが、初戦の大差（10-0）勝ちに続いて準々決勝戦でも流山マリーンズに9-0の完封勝ちで実力派の存在を強くアピールした。また、初戦シードで2回戦の東深井ボーイズ戦に接戦勝ちした野菊野ファイターズも、ブロックリーグ戦で強打を誇った江戸川台フェニックスに大差勝ちしてベスト4に名乗りを上げた。さらに初戦から着実に勝利を重ねてきたリトルイーグルスも、松葉ニューセラミックスとの点の取り合いを制して、ベスト4に駒を進めてきた。

かくして最終日となった2月9日は、前週に続き流山おおたかの森スポーツフィールドに於いて、準決勝戦の2試合に続いて三位決定戦、決勝戦が行われた。

先ず準決勝戦はA、B各面で同時スタート。野菊野ファイターズ vs リトルイーグルス戦は、野菊ファイターズが初回に先制の1点を挙げたが、リトルベアーズが5回に3点を奪って逆転、時間で最終回となった6回の野菊野ファイターズの反撃を、1点に抑えて快勝した。

これに対して、前試合抽選勝ちして波に乗った高野台ジャガーズは、今大会絶好調の豊上ジュニアーズに挑んだが、豊上ジャガーズの気迫に押されて完封負けは残念だった。勝った豊上ジュニアーズはこれで3試合連続の完封勝利で、さらに調子を上げて決勝戦に進出した。

この結果、栄冠を賭けての決勝戦は、リトルイーグルスと豊上ジュニアーズの対決となった。試合は、3試合連続完封勝ちを続けている豊上ジュニアーズが、初回から打線が爆発して得点を挙げて主導権を握り、とくに3回には一挙9点を奪うなどワンサイドのペースで、最後まで攻勢を持続してリトルイーグルスを圧倒し、前年度に続いて連覇を達成した。

敗れたリトルイーグルスは、3回と4回に反撃して3点を挽回したものの、前半の失点とともに3回の大量9失点が致命傷となってしまった。試合は4回裏時間で終了した。

決勝大会を振り返ると、全4試合に圧倒的な強さを發揮して優勝した豊上ジュニアーズの活躍ぶりが特筆されるが、それとは別に、ベスト4に進出したリトルイーグルス、野菊野ファイターズ、高野台ジャガーズの各チームは、各市では実力派として知名度も高く、この時期に早々戦力を整えて活躍して、今大会を大いに盛り上げたのが印象に残った。

以下最終日の成績

☆準決勝戦 2月9日(日) 流山おおたかの森スポーツフィールドA面

野菊野 ファイターズ	1	0	0	0	0	1	=	2
リトルイーグルス	0	0	0	0	3	X	=	3

☆準決勝戦 2月9日(日) 流山おおたかの森スポーツフィールドB面

高野台 ジャガーズ	0	0	0	0	0	=	0	
豊上 ジュニアーズ	3	2	1	0	1	X	=	7

☆三位決定戦 2月9日(日) 流山おおたかの森スポーツフィールドB面

野菊野 ファイターズ	0	0	1	3	0	0	0	=	4
高野台 ジャガーズ	0	0	1	1	0	1	0	=	3

☆決勝戦 2月9日(日) 流山おおたかの森スポーツフィールドA面

リトルイーグルス	0	0	1	0	2	=	3	
豊上 ジュニアーズ	1	2	9	0	0	X	=	12



優勝 豊上ジュニアーズ



準優勝 リトルイーグルス



第三位 野菊野ファイターズ





熱戦



スナップ!

















受賞 スナップ!

令和2年2月9日
於 流山おおたかの森 スポーツフィールド



優勝
豊上ジュニアーズ



準優勝

リトルイーグルス





第三位 野菊野ファイターズ



第四位 高野台ジャガーズ

ブロックリーグ戦 勝敗表

A block

順位		豊上ジュニアーズ	流山シャークス	トライスター	小金原ビクトリー	新木野コンドル	柳沢イーグルス	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝点	総得点	総失点	得点差
1	豊上ジュニアーズ (柏)		○ 8-0	○ 17-0	○ 12-0	○ 11-0	○ 12-1	5	5	0	0	10	60	1	59
2	流山シャークス (流山)	● 0-8		○ 11-4	○ 11-0	○ 8-3	○ 10-4	5	4	1	0	8	40	19	21
3	トライスター (柏)	● 0-17	● 4-11		○ 5-1	○ 19-6	○ 6-2	5	3	2	0	6	34	37	△3
4	小金原ビクトリー (松戸)	● 0-12	● 0-11	● 1-5		○ 5-4	○ 6-0	5	2	3	0	4	12	32	△20
5	新木野コンドル (我孫子)	● 0-11	● 3-8	● 6-19	● 4-5		○ 8-5	5	1	4	0	2	21	48	△27
6	柳沢イーグルス (野田)	● 1-12	● 4-10	● 2-6	● 0-6	● 5-8		5	0	5	0	0	12	42	△32

B block

順位		清水タイガース	八柱サンジュニアーズ	千代田ファイターズ	八木南クラブ	ブラックタイガース	若草	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝点	総得点	総失点	得点差
1	清水タイガース (野田)		○ 10-0	○ 13-3	○ 8-3	○ 10-1	○ 12-2	5	5	0	0	10	53	9	44
2	八柱サンジュニアーズ (松戸)	● 0-10		● 3-13	○ 8-5	○ 13-1	○ 26-0	5	3	2	0	6	50	29	21
3	千代田ファイターズ (柏)	● 3-13	○ 13-3		● 6-9	○ 8-4	○ 11-4	5	3	2	0	6	41	33	8
4	八木南クラブ (流山)	● 3-8	● 5-8	○ 9-6		○ 8-2	○ 9-7	5	3	2	0	6	34	31	3
5	ブラックタイガース (我孫子)	● 1-10	● 1-13	● 4-8	● 2-8		○ 7-3	5	1	4	0	2	15	42	△27
6	若草 (柏)	● 2-12	● 0-26	● 4-11	● 7-9	● 3-7		5	0	5	0	0	16	65	△49

ブロックリーグ戦 勝敗表

C block

順位		リトルイーグルス (我孫子)	向小金ファイターズ (流山)	四小地区少年野球クラブ (柏)	豊四季イーグルス (柏)	野田ドンキーズ (野田)	大橋みどりファイターズ (松戸)	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け点	勝点	総得点	総失点	得点差
1	リトルイーグルス (我孫子)	○ 11-3	○ 2-0	○ 20-1	○ 17-0	○ 7-2		5	5	0	0	10	57	6	51
2	向小金ファイターズ (流山)	● 3-11		○ 7-3	○ 11-2	● 5-6	○ 7-3	5	3	2	0	6	33	25	8
3	四小地区少年野球クラブ (柏)	● 0-2	● 3-7		○ 15-1	○ 13-3	○ 11-3	5	3	2	0	6	42	16	26
4	豊四季イーグルス (柏)	● 1-20	● 2-11	● 1-15		○ 9-4	○ 4-0	5	2	3	0	4	17	50	△33
5	野田ドンキーズ (野田)	● 0-17	○ 6-5	● 3-13	● 4-9		△ 8-8	5	1	3	1	3	21	52	△31
6	大橋みどりファイターズ (松戸)	● 2-7	● 3-7	● 3-11	● 0-4	△ 8-8		5	0	4	1	1	16	37	△21

D block

順位		増尾レッドスターズ (柏)	五香メッツ (松戸)	柏ボーイング (柏)	布佐スパイダーズ (我孫子)	初石クーガーズ (流山)	ありんこアントス (流山)	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け点	勝点	総得点	総失点	得点差
1	増尾レッドスターズ (柏)	○ 5-4	○ 5-4	○ 13-5	○ 6-2	○ 12-2		5	5	0	0	10	41	17	24
2	五香メッツ (松戸)	● 4-5		○ 11-3	○ 12-4	○ 12-1	○ 7-0	5	4	1	0	8	46	13	33
3	柏ボーイング (柏)	● 4-5	● 3-11		● 2-3	○ 9-5	○ 5-4	5	2	3	0	4	23	28	△5
4	布佐スパイダーズ (我孫子)	● 5-13	● 4-12	○ 3-2		● 10-11	○ 5-1	5	2	3	0	4	27	39	△12
5	初石クーガーズ (流山)	● 2-6	● 1-12	● 5-9	○ 11-10		○ 6-2	5	2	3	0	4	25	39	△14
6	ありんこアントス (流山)	● 2-12	● 0-7	● 4-5	● 1-5	● 2-6		5	0	5	0	0	9	35	△26

ブロックリーグ戦 勝敗表

E block

順位		藤心ジャガーズ (柏)	流山ホークス (流山)	高塚新田ラーケス (松戸)	柏ヤンガーズ (柏)	南流ファイターズ (流山)	白山クラブ (我孫子)	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け	勝点	総得点	総失点	得点差
1	藤心ジャガーズ (柏)	○ 5-4	△ 3-3	△ 3-3	○ 13-1	○ 10-7	○ ○	5	3	0	2	8	34	18	16
2	流山ホークス (流山)	● 4-5	○ 6-4	○ 13-0	○ 22-1	○ 10-1	○ ○	5	4	0	0	8	55	11	44
3	高塚新田ラーケス (松戸)	△ 3-3	● 4-6		△ 4-4	○ 16-2	○ 13-0	5	2	1	2	6	40	15	25
4	柏ヤンガーズ (柏)	△ 3-3	● 0-13	△ 4-4		○ 12-1	● 4-5	5	1	2	2	4	23	26	△3
5	南流ファイターズ (流山)	● 1-13	● 1-22	● 2-16	● 1-12		○ 15-9	5	1	4	0	2	20	72	△52
6	白山クラブ (我孫子)	● 7-10	● 1-10	● 0-13	○ 5-4	● 9-15		5	1	4	0	2	22	52	△30

F block

順位		松葉ニューセラミックス (柏)	流山マリーンズ (流山)	新柏ツインズ (柏)	根木内ヤングスターズ (松戸)	カージナルス (流山)	サンスペッツ少年野球クラブ (我孫子)	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け	勝点	総得点	総失点	得点差
1	松葉ニューセラミックス (柏)	● 4-6	○ 7-5	○ 5-0	○ 20-1	○ 16-1	○ ○	5	4	1	0	8	52	13	39
2	流山マリーンズ (流山)	○ 6-4	● 5-6	○ 5-2	○ 9-6	○ 16-2	○ ○	5	4	1	0	8	41	20	21
3	新柏ツインズ (柏)	● 5-7	○ 6-5		○ 4-3	○ 7-1	○ 10-3	5	4	1	0	8	32	19	13
4	根木内ヤングスターズ (松戸)	● 0-5	● 2-5	● 3-4		○ 10-2	○ 17-2	5	2	3	0	4	32	18	14
5	カージナルス (流山)	● 1-20	● 6-9	● 1-7	● 2-10		○ 7-4	5	1	4	0	2	17	50	△33
6	サンスペッツ少年野球クラブ (我孫子)	● 1-16	● 2-16	● 3-10	● 2-17	● 4-7		5	0	5	0	0	12	66	△54

ブロックリーグ戦 勝敗表

G block

順位		沼南ファイヤーズ	西新田子ども会	リトルキッズ	松戸スラッガーズ	GBC	試合	勝利	敗戦	引き分け	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	沼南ファイヤーズ (柏)		○ 10-5	○ 7-4	○ 11-1	○ 15-0	4	4	0	0	8	43	10	33
2	西新田子ども会 (野田)	● 5-10		○ 7-5	○ 10-2	○ 28-2	4	3	1	0	6	50	19	31
3	リトルキッズ (我孫子)	● 4-7	● 5-7		○ 17-2	○ 11-2	4	2	2	0	4	37	18	△19
4	松戸スラッガーズ (松戸)	● 1-11	● 2-10	● 2-17		○ 15-5	4	1	3	0	2	20	43	△23
5	GBC流山 (流山)	● 0-15	● 2-28	● 2-11	● 5-15		4	0	4	0	0	9	69	△60

H block

順位		野菊野ファイターズ	湖北フレンズ	光ヶ丘シャークス	加岸ベアーズ・鰐ヶ崎ジュニアフインズ	七光台ヤンキース	試合	勝利	敗戦	引き分け	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	野菊野ファイターズ (松戸)		○ 9-1	○ 11-6	○ 14-2	○ 10-0	4	4	0	0	8	44	9	35
2	湖北フレンズ (我孫子)	● 1-9		○ 4-2	○ 18-2	○ 8-0	4	3	1	0	6	31	13	16
3	光ヶ丘シャークス (柏)	● 6-11	● 2-4		○ 7-2	○ 7-0	4	2	2	0	4	22	17	5
4	加岸ベアーズ・鰐ヶ崎ジュニアフインズ (流山)	● 2-14	● 2-18	● 2-7		○ 5-4	4	1	3	0	2	11	43	△32
5	七光台ヤンキース (野田)	● 0-10	● 0-8	● 0-7	● 4-5		4	0	4	0	0	4	30	△26

ブロックリーグ戦 勝敗表

I block

順位		江戸川台フェニックス (流山)	リトルジャガーズ	リトルベアーズ	光フェニックス	野田ブレーブス中地	アトミックファローズ	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け数	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	江戸川台 フェニックス (流山)		○ 4-2	○ 9-1	○ 25-1	○ 13-0	○ 15-0	5	5	0	0	10	66	4	62
2	リトルジャガーズ (我孫子)	● 2-4		○ 14-1	○ 21-1	○ 14-0	○ 14-4	5	4	1	0	8	65	10	55
3	リトルベアーズ (松戸)	● 1-9	● 1-14		○ 20-2	○ 3-0	○ 7-3	5	3	2	0	6	32	28	4
4	光フェニックス (柏)	● 1-25	● 1-21	● 2-20		○ 12-9	○ 13-2	5	2	3	0	4	29	77	△48
5	野田 ブレーブス中地 (野田)	● 0-13	● 0-14	● 0-3	● 9-12		○ 8-3	5	1	4	0	2	17	45	△28
6	アトミック バッファローズ (柏)	● 0-15	● 4-14	● 3-7	● 2-13	● 3-8		5	0	5	1	0	12	57	△45

J block

順位		前ヶ崎クラブ	高野台ジャガーズ	柏南ギャランツ	みさと団地ライオンズ	ブラックバード	山崎クーガーズ	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け数	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	前ヶ崎クラブ (流山)		○ 5-0	○ 7-1	○ 6-1	○ 16-1	○ 18-0	5	5	0	0	10	52	3	49
2	高野台ジャガーズ (柏)	● 0-5		○ 8-4	○ 15-3	○ 30-1	○ 7-0	5	4	1	0	8	60	13	47
3	柏南ギャランツ (柏)	● 1-7	● 4-8		○ 8-7	○ 27-0	○ 22-1	5	3	2	0	6	62	23	39
4	みさと団地 ライオンズ (三郷)	● 1-6	● 3-15	● 7-8		○ 9-3	○ 14-4	5	2	3	0	4	34	36	△2
5	ブラックバード (我孫子)	● 1-16	● 1-30	● 0-27	● 3-9		○ 10-5	5	1	4	0	2	15	87	△72
6	山崎クーガーズ (野田)	● 0-18	● 0-7	● 1-22	● 4-14	● 5-10		5	0	5	0	0	10	71	△61

ブロックリーグ戦 勝敗表

K block

順位		東深井ボーイズ	中上町少年野球部 ヤンキース	新和ヴィクトリー	北柏スープーナイン	伊勢原ジャガーズ	試合	勝	敗	引分け	勝点	総得点	総失点	得点差
							数	利	戦	け	点	点	点	差
1	東深井ボーイズ (流山)		○ 11-0	○ 12-1	○ 10-3	○ 9-2	4	4	0	0	8	42	6	36
2	上町少年野球部 中根ヤンキース (野田)	● 0-11		○ 6-0	△ 8-8	○ 11-5	4	2	1	1	5	25	24	1
3	新和ヴィクトリー (三郷)	● 1-12	● 0-6		○ 9-5	○ 14-0	4	2	2	0	4	24	23	1
4	北柏スープーナイン (柏)	● 3-10	△ 8-8	● 5-9			3	0	2	1	1	16	27	△11
5	伊勢原ジャガーズ (柏)	● 2-9	● 5-11	● 0-14			3	0	3	0	0	7	34	△27

(注)空欄は打ち切り

L block

順位		柏ドリームス	南部ルーキーズ	平川レッドスターズ	小田急ライオンズ	加賀シャトルズ	試合	勝	敗	引分け	勝点	総得点	総失点	得点差
							数	利	戦	け	点	点	点	差
1	柏ドリームス (柏)		○ 4-1	○ 16-2	○ 7-5	○ 37-0	4	4	0	0	8	64	8	56
2	南部ルーキーズ (野田)	● 1-4		○ 7-4	○ 15-2	○ 14-4	4	3	1	0	6	37	14	23
3	平川レッドスターズ (市川)	● 2-16	● 4-7		○ 13-3	○ 14-1	4	2	2	0	4	33	27	6
4	小田急ライオンズ (流山)	● 5-7	● 2-15	● 3-13		○ 8-2	4	1	3	0	2	18	37	△19
5	加賀シャトルズ (柏)	● 0-37	● 4-14	● 1-14	● 2-8		4	0	4	0	0	7	73	△66

★ブロックリーグ戦 概評★

◆ A ブロック

豊上ジュニアーズの実力が突出していて、全5試合をワンサイド勝ち。5試合での総得点60点（1試合平均12点）はリーグ戦全体では3番目に多い記録だが、総失点は僅か1点だけで、これはこれまでのリーグ戦では最も少ない記録。

豊上ジュニアーズに敗れた流山シャークスが、4勝1敗で2位となって決勝大会進出を決めたが、3位以下は勝ち星一つの差で順当に順位が決まった。

◆ B ブロック

清水タイガースが5戦全勝で首位。同チームが5試合で挙げた総得点53点（1試合平均10.6点）は、攻撃力の高さを証明している。

2位争いは八柱サンジュニアーズ、千代田ファイターズ、八木南クラブの3チームが3勝2敗の同成績となり、しかも三つ巴となったため、順位は得失点差での決着となった。この結果、八柱サンジュニアーズが他の2チームを大きく引き離して確定した。

◆ C ブロック

5戦全勝で首位となったリトルイーグルスの安定した実力が一際目立った。同チームが5試合で挙げた総得点57点（1試合平均11.4点）は6チーム編成のリーグ戦の中では6番目に多い記録であると同時に、総失点6点（1試合平均1.2点）は逆に4番目に少ない記録で、この点がそれを証明している。

2位争いは、一時は向小金ファイターズ、四小地区少年野球クラブ、豊四季イーグルス、野田ドンキーズの4チームで熾烈な激戦を展開した。最終的には、向小金ファイターズと四小地区少年野球クラブが3勝2敗の同成績で並んだが、順位は直接対決で勝利している向小金ファイターズが上位となって、決勝大会への進出権を獲得した。

野田ドンキーズは向小金ファイターズに勝利したのは見事だったが、2位を巡って凌ぎを削っている相手の四小地区少年野球クラブと豊四季イーグルスに敗れて脱落、豊四季イーグルスも向小金ファイターズと四小地区少年野球クラブに敗れて無念の涙を飲んだ。

◆ D ブロック

最終的には5戦全勝で首位となった増尾レッドスターズと、同チームに敗れたものの4勝1敗の成績を残した五香メッツで、決勝大会進出は順当に決まった。

その他の4チームは戦力と試合内容にバラツキが多く、上位2チームとの対戦で壁を破ることは出来なかった。

強いてあげれば、柏ボーイズが増尾レッドスターズに1点差の惜敗があった程度で、

強いてあげれば、柏ボーイズが増尾レッドスターズに1点差の惜敗があった程度で、実力的にはちょっと差があった感じ。

なお、柏ボーイズ、布佐スパイダーズ、初石クーガーズの3チームは、2勝3敗の同成績で並んだが、順位は得失点差によって決められ、柏ボーイズが3位、布佐スパイダーズが4位、初石クーガーズが5位となった。

◆ E ブロック

1位から4位までは熾烈な戦いで、順位争いはかなり纏めた。最終的に首位となった藤心ジャガーズは、勝ち星では2位となった流山ホークスより少ない3勝ながら、ほかに2引分けがあり、勝ち点は8点で流山ホークスと並び、かつ流山ホークスとの対戦で勝利したことが大きかった。

惜しかったのは2勝2引分け1敗で3位となった高塚新田ラーカス。首位となった藤心ジャガーズとは引分けたが、流山ホークスに敗れたのが痛恨だった。

なお、3位以下のチームは、勝利を巡って激戦を展開したが、全敗したチームがなかつたのは、それだけリーグ戦が盛り上がった証し。

◆ F ブロック

松葉ニューセラミックスと、流山マリーンズ、新柏ツインズの3チームで二つの議席（決勝大会への進出権）を争ったが、最終的には3チームとも4勝1敗の同成績で、しかも成績は三つ巴となつたため、順位は得失点差による決着となった

この結果、松葉ニューセラミックスが首位、流山マリーンズが2位に決まって、新柏ツインズは3位となって涙を飲んだ。この3チームの実力はほぼ互角だったが、4位以下のチームは、この3チームとは実力差がありすぎて、試合経験を積むだけに終わった。

◆ G ブロック

このブロックより5チーム編成。沼南ファイヤーズの実力が他の4チームを上回って、4戦全勝は内容も良かった。

2位は、西新田子ども会トリトルキングで争ったが、直接対決で勝利した西新田子ども会が勝って決勝大会進出を決めた。なお、同チームがGBC流山戦で挙げた得点28点は、Jブロック柏ドリームスが加賀シャトルズ戦で挙げた37点に次ぐ、リーグ戦全体での2番目に多い記録。

3位以下は勝ち星一つの差で決まったが、GBC流山は戦力がまだ整わず、4試合を経験するだけに終わった。

◆ H ブロック

4戦全勝の野菊野ファイターズの実力が勝り、安定した試合内容で文句なしに首位を決めた。

注目点は決勝大会への進出を巡って激戦を展開した湖北フレンズと光ヶ丘シャークスの2位争いで、こちらは直接対決で湖北フレンズが勝って2勝1敗の成績で2位となり、決勝大会への進出を決めた。

3位以下では、光ヶ丘シャークスが2位となった湖北フレンズに善戦惜敗したが、その他のチームは上位チームには殆どが完敗で、レベルの差が感じられた。

◆ I ブロック

江戸川台フェニックス、リトルジャガーズ、リトルイーグルスの3チームで、決勝大会進出枠の2チームを争ったが、江戸川台フェニックスがリトルジャガーズとリトルイーグルスを破って5戦全勝で首位となり、一番乗りで決勝大会進出を決めた。

ちなみに、同チームは下位の野田ブレーブス中地とアトミックバッファローズに大差勝ちしたこと也有って、ブロックリーグ戦5試合での総得点66点（1試合平均13.2点）を挙げ、これは今回の6チーム編成リーグ戦全体でのNO.1の記録。また、5試合での総失点4点（1試合平均0.8点）はリーグ戦全体では4番目に少ない記録。

2位は、リトルベアーズを制したリトルジャガーズが4勝1敗で確保したが、同チームがリーグ戦の勝ち試合に挙げた得点が、いずれも10点以上だったのは珍しいケース。4試合での総得点65点（1試合平均13点）も、リーグ戦全体では同じブロックの江戸川台フェニックスの66点に続く2番目に多い記録。

◆ J ブロック

デフェンス力に優れた前ヶ崎クラブが5戦全勝で首位。ちなみに、同チームが5試合で失った総失点3（1試合平均0.6点）は、Aブロック首位の豊上ジュニアーズの1点に次ぐ最少記録で、総得点52点（1試合平均10.4点）とのバランスも良かった。

2位は前ヶ崎クラブには完封負けしたものの、他の4試合を手堅く勝利した高野台ジャガーズが4勝1敗で確保した。なお、同チームがブラックバード戦で挙げた得点30点は、リーグ戦全体での最高記録。

前ヶ崎クラブと高野台ジャガーズに敗れて3位となった柏南ギャランツは、3勝はしたものの、上位2チームに対する敗戦、とくに高野台ジャガーズ戦が痛恨だった。なお、同チームがブラックバード戦で挙げた得点27点は、リーグ戦全体では3番目に多い記録。

◆ K ブロック

このブロックも5チーム編成。決勝大会への進出は4戦全勝の東深井ボーイズが首位で決めたほか、2位は上町少年野球部と新和ヴィクトリーの2チームで争ったが、上町少年野球部が新和ヴィクトリーに完封勝利して権利を獲得した。

首位となった東深井ボーイズは、攻守に安定した実力を有しており、4試合で挙げた総得点42点（1試合平均10.5点）に対して、総失点6点（1試合平均1.5点）は、充分に戦力のバランスの良さを証明している。

なお、北柏スーパーナイン vs 伊勢原ジャガーズの対戦は、他大会との兼ね合いによって

期間内で試合が出来なかつたため、打ち切りの特別措置がとられた。

◆ L ブロック

柏ドリームが加賀シャトルズ戦に37点を挙げて大勝するなど、リーグ戦全体での総得点64点（1試合平均16点）を挙げるとともに、4戦全勝で首位を決めた。

2位は、同チームに敗れた南部ルーキーズが、他の3試合に勝利して決めた。

3位以下のチームはそれなりに健闘はしたが、上位2チームとはちょっと実力の開きがあった感じ。

第39回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 出場チーム

■市川地区(1)

平川レッドスターズ

■三郷地区(2)

みさと団地ライオンズ
新和ヴィクトリー

■流山地区(15)

流山マリーンズ
初石クガーズ
江戸川台フェニックス
東深井ボーイズ
カージナルス
加岸ベアーズ&
鰐ヶ崎ジュニアファインズ
流山ホークス
小田急ライオンズ
南流ファイターズ
前ヶ崎クラブ
ありんこアントス
八木南クラブ
向小金ファイターズ
GBC流山
流山シャークス

■野田地区(9)

西新田子ども会
上町少年野球部&
中根ヤンキース
南部ルーキーズ
清水タイガース
山崎クガーズ
柳沢イーグルス
野田ドンキーズ
七光台ヤンキース
野田ブレーブス中地

■我孫子地区(10)

リトルジャガーズ
リトルイーグルス
湖北フレンズ
新木野コンドル
ブラックタイガース
布佐スパイダーズ
白山クラブ
リトルキング
サンスパッツ少年野球クラブ
ブラックバード

■柏地区(22)

加賀シャトルズ
豊上ジュニアーズ
藤心ジャガーズ
増尾レッドスターズ
光ヶ丘シャークス
豊四季イーグルス
北柏スーパーナイン
柏ドリームズ
柏ボーイズ
四小地区少年野球クラブ
高野台ジャガーズ
千代田ファイターズ
トライスター
松葉ニューセラミックス
新柏ツインズ
柏ヤンガーズ
柏南ギャランツ
アトミックバッファローズ
若草
伊勢原ジャガーズ
光フェニックス
沼南ファイヤーズ

■松戸地区(9)

小金原ビクトリー
根木内ヤングスターズ
野菊野ファイターズ
五香メッツ
松戸スラッガーズ
高塚新田ラークス
大橋みどりファイターズ
リトルベアーズ

● 新聞揭載記事 ●

令和2年2月29日号

ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

台和20

No. 304



三回、この回タス月の過時料を取つ元) 750石



操作は大半の機能を提供する複数の操作パネル

リトルイーグルス
エクセラーズ
1 0
2 0
9 1
0 2
X 0
12 3



2年半約2億円の借入を果たした豊トヨタニアース

第三回 九月の月夜
那須少少平野原大久保前田
エドワード・ジョンソンは、2月2日、浦口市にて死んでゐる
の暮れ平野二郎の下で、
江幡がある。身長二メートル
一メートル、頭が丸い。トータル
九メートル程度で、走るとき
驚き、2年連続で「最優秀」の旗
勝ち取った。市長に選ばれて
してから年十才の塾生「今
の城力金持、青木久人公
卿」が、下判的の金を送りて、市長
一人の頭目である。結果的に
全国制覇へ日本好発進へた。
最後に兵船アリタ、ス
松戸へ来た。
○○○市長の金を取るのみが
今まで、一いぢり生の県

いを、手すり、よこしてみると
は「いつの間にか人の取
られない」感覚になるの
ではないだろうか。

他回の記事はコアクト
が、レント物一單の森
に「自分が二度も帆船の抽
子の運送業で生業した。
回に相手の業のことをい
て本音で口をきかず切る
と、二回目に口をひく人の経
験で、手すり、機械力をも
たら多額を支拂で、手
に勝敗を決めた。

身土は時計、5年生子一
ムが説う日本、ハネムン等
言語の呼称等に対する初

していなかった。スの右側に、
細かい複雑な模様が施され、左側は
方格だ。腰元君は、華やかで、
スもまた、これ打込みを含む
おきな口ひどき、流石でも
お安打込みの品種で、御
文様アラシも愛用した。

柏豊上ジユニアーズ連盟

野球 カリフ・マルエス旗争奪

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 歴代ベスト3

回数	開催年度	出場 チーム 数	優 勝	準 優 勝	第三位	
1	昭和57年 1982	15	リアノス (柏)	伊勢原ジャガーズ (柏)	カージナルス (流山)	
2	昭和58年 1983	28	初石クーガーズ (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)	リアノス (柏)	
3	昭和59年 1984	28	千代田ファイターズ (柏)	つくしが丘ファイブス (柏)	江戸川台アトラス (流山)	
4	昭和60年 1985	36	松葉ニューセラミックス (柏)	ありんこアントス (流山)	つくしが丘ファイブス (柏)	
5	昭和61年 1986	36	リアノス (柏)	増尾レッドスターズ (柏)	加岸クラブ (流山)	
6	昭和62年 1987	42	増尾レッドスターズ (柏)	向小金ファイターズ (流山)	名戸ヶ谷アトミック (柏)	
7	昭和63年 1988	42	千代田ファイターズ (柏)	増尾クラブ (柏)	名戸ヶ谷ウォリアーズ (柏)	
8	平成元年 1989	47	松葉ニューセラミックス (柏)	西山イーグルス (柏)	つくしが丘ファイブス (柏)	
9	平成2年 1990	48	柏ヤンガーズ (柏)	ありんこアントス (流山)	光団ファイターズ (柏)	
10	平成3年 1991	48	ありんこアントス (流山)	増尾レッドスターズ (柏)	名戸ヶ谷アトミック (柏)	
11	平成4年 1992	50	千代田ファイターズ (柏)	増尾クラブ (柏)	つくしが丘ファイブス (柏)	
12	平成5年 1993	56	千代田ファイターズ (柏)	高野台ジャガーズ (柏)	トライスター (柏)	
13	平成6年 1994	55	西山イーグルス (柏)	泉ライオンズ (流山)	ありんこアントス (流山)	
14	平成7年 1995	54	ありんこアントス (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	梅郷パワーズ (野田)	
15	平成8年 1996	51	高野台ジャガーズ (柏)	梅郷パワーズ (柏)	トライスター (柏)	
16	平成9年 1997	48	前ヶ崎クラブA (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	清水タイガース (野田)	
17	平成10年 1998	54	松葉ニューセラミックス (柏)	千代田ファイターズ (柏)	豊四季イーグルス (柏)	
18	平成11年 1999	54	千代田ファイターズ (柏)	清水タイガース (野田)	八景台ジュニアーズ (松戸)	
19	平成12年 2000	57	千代田ファイターズ (柏)	牧の原ジュニアーズ (松戸)	向小金ファイターズ (流山)	
20	平成13年 2001	56	千代田ファイターズ (柏)	松葉ニューセラミックス (柏)	前ヶ崎クラブ (流山)	
21	平成14年 2002	59	千代田ファイターズ (柏)	串崎スワローズ (松戸)	セントラルパークス (松戸)	
22	平成15年 2003	61	長崎FLB (流山)	大津が丘ファイターズ (柏)	高野台ジャガーズ (柏)	
23	平成16年 2004	64	松葉ニューセラミックス (柏)	高野台ジャガーズ (柏)	久寺家エラーズ (我孫子)	
24	平成17年 2005	72	初石クーガーズ (流山)	東深井ファイナルズ (流山)	加岸ベアーズ (流山)	
25	平成18年 2006	81	加岸ベアーズ (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	加賀シャトルズ (柏)	
26	平成19年 2007	90	千代田ファイターズ (柏)	加岸ベアーズ (流山)	松葉ニューセラミックス (柏)	
27	平成20年 2008	80	串崎スワローズ (松戸)	松葉ニューセラミックス (柏)	柏ビクトリー (柏)	
28	平成21年 2009	76	野田ドンキーズ (野田)	セントラルパークス (松戸)	串崎スワローズ (松戸)	
29	平成22年 2010	82	初石クーガーズ (流山)	カージナルス (流山)	高野台ジャガーズ (柏) 常盤平ボイズ (柏)	
30	平成23年 2011	78	高野台ジャガーズ (柏)	加岸ベアーズ (流山)	豊上ジュニアーズ (柏) 流山ホークス (流山)	
31	平成24年 2012	81	高野台ジャガーズ (柏)	カージナルス (流山)	江戸川台フェニックス (流山)	
32	平成25年 2013	72	高野台ジャガーズ (柏)	豊上ジュニアーズ (柏)	セントラルパークス (松戸)	
33	平成26年 2014	72	※悪天候等の影響により、決勝大会は中止。各ブロック1位・2位の表彰をもって終幕。			
34	平成27年 2015	68	流山マリーンズ (流山)	カージナルス (流山)	柏ドリームス (柏)	
35	平成28年 2016	71	松戸スラッガーズ (松戸)	野菊野ファイターズ (松戸)	三郷スターズ (三郷)	

(注)第29回と第30回大会は、三位決定戦を行わず2チーム同成績

回数	開催年度	出場 チーム 数	優 勝	準 優 勝	第三位
36	平成29年 2017	64	リトルジャガーズ (我孫子)	南部ルーキーズ (野田)	長崎FLB (流山)
37	平成30年 2018	69	セントラルパーカス (松戸)	豊上ジュニアーズ (柏)	松葉ニューセラミックス (柏)
38	平成31年 2019	67	豊上ジュニアーズ (柏)	流山ホークス (流山)	常盤平ボーイズ (柏)

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 開催要項

(平成30年一部改正)

主催・主管 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会運営委員会
 共 催 柏市・流山市・野田市・松戸市 各少年野球連盟
 後 援 株式会社カリフ・柏食品株式会社 ダイワマルエス株式会社
 株式会社共同写真企画 流山ボーイズ 朝日スポーツキッズ

開催期間 ブロックリーグ戦
 原則として抽選会以降の10月から翌年1月中旬頃までに終了させる。
 決勝トーナメント大会
 翌年1月下旬から2月中旬までの土・日曜日・祝日に開催（雨天順延）

開催方法

- ・出場資格は5年生以下の新チームとする。
- ・全日本軟式野球連盟（少年野球）規則及び千葉県、各市内大会の規則に準ずる。
- ・参加チームを複数のブロックに分け、それぞれ総当たりのリーグ戦によって上位2チームまでが決勝トーナメント大会に出場出来る。なお、1ブロックの構成は5～8チームをベースとする。
- ・試合方法は全試合7回の時間制とし、試合時間はシートノックを除き正味1時間30分。シートノックは5分以内とする。
- ・試合の終了は、3アウト目が主審の時計で1分を切っている場合は試合終了。1分以上の残り時間がある場合は次の回に入る。但し、7回までとする。
- ・リーグ戦での得点によるコールドゲームはなく、全て7回または時間制。7回終了及び時間に達しても勝負がつかない場合は引き分け。なお、リーグ戦では時間内の延長戦と特別ルールの適用は行わない。
- ・但し、決勝トーナメント大会は、決勝戦を除いた全試合にコールドゲーム（3回以降10点差、5回以降7点差）制が適用される。同点で勝負がつかない場合は、特別ルール（一死走者満塁、打者は前回の最終打者の次打者、走者は最終打者を含め遡って3名）を適用する。

決勝戦のみコールドゲームは用いないが、回数は7回または規定時間までとする。同点の場合は特別ルールを適用（2回まで）するが、それでも勝負がつかない時は抽選によって勝敗を決める。

- ・決勝大会がダブルになった場合の第一試合で、7回終了時点で勝負がつかない場合は、特別ルール（上記参照）を適用して勝敗を決める。7回終了以前で規定時間に達した場合も同様とする。
- ・投手の一試合での投球回数を5回、15アウトまでとし、さらに一日の投球回数は10回30アウトまでとする。
- ・ベンチは若番が一塁側とし、先攻・後攻はジャンケンで決める。

順位基準	<p>リーグ戦で同成績の場合は対戦勝利チームが上位。三つ巴になった場合は、得失点差の最も多いチームが最上位。得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位。</p> <p>但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームがたとえ得失点差で上回っても、順位は3チームの中では最下位となる。</p> <p>なお、リーグ戦の成績は平成25年度より従来の勝率制を廃止して、勝点制に改正した。勝点は勝利2点、引き分け1点、敗戦0点とする。</p>
日程編成	<p>リーグ戦の日程は各ブロックごとに決め、グランドも同時に確保する。雨天中止などで日程の消化がズレ込んだ場合は、決勝トーナメント大会出場可能チームの日程を最優先して消化に努める。他の大会と掛け持ちのチームは、あくまでも当大会の日程消化を優先させる。</p> <p>負けが込んで試合消化に意欲を失ったチームの日程消化遅延、及び試合打ち切りなどについては、とくにやむを得ない事情以外は認めない。この場合、その程度如何によっては、不戦敗（得点は0-10）または次回からの出場停止処分の対象となるので注意して下さい。</p> <p>当大会は新人の研修大会でもあり、出場チームは経験を積むためと地域交流を図る意味でも大切ですので、積極的に試合を行うよう努めて下さい。</p>
ブロック長	<p>ブロック長はブロックリーグ戦の運営については、全ての責任と権限を有する。リーグ戦の参加チームが、日程の編成をブロック長に一任した場合は、理由の如何を問わず必ずその決定に従う。不履行並びに日程消化に支障を来たすような行為をした場合は、当該チームは棄権（不戦敗扱いでスコアは0-10）とみなして勧告し、その行為を2回以上犯した場合は、自動的に失格（以降の試合は出来ない）とする。</p> <p>ブロック長は、大会期間中は実行委員も兼務し、大会の円滑な運営に注力する。リーグ戦については、試合の消化状況や結果を常に掌握して、一定期間内に事務局に報告することを義務付ける。</p>
審判当番	<p>リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決める。他の大会との掛け持ちなどで当日の審判が出来ない場合は、その旨必ず了解を取り、後日その分を埋め合わせする。無断で不履行した場合は、当該チームは失格の対象となるので注意して下さい。</p> <p>決勝トーナメント大会には、各ブロック内で決勝大会に出場出来なかったチームに、一度は審判当番（1名以上）が義務付けられます。審判当番者の服装については、無帽、サンダル履きは厳禁です。なお、決勝トーナメント大会の審判当番者には、一名につき500円の食事代が支給されます。</p> <p>決勝トーナメント大会の審判当番を不履行した場合でも、ペナルティ（次回からの出場停止ほか）の対象となりますので注意して下さい。</p>
大会参加費	1チーム 5,000円（抽選会の時に会計に納入して下さい）
記録	事務局（事業部）及びブロック長は、各ブロックリーグ戦のデータを常に掌握しておく。また、当該ブロックの試合結果などはその週のうちに下記まで報告して下さい。

平田宗久 T E L / F A X 0 4 - 7 1 5 5 - 4 0 5 2 (F A Xにて)
小泉博康 T E L / F A X 0 4 - 7 1 5 4 - 8 5 2 9 (F A Xにて)
(注) ホームページに掲載します

H P h t t p : // w w w 1 3 . p l a l a . o r . J p / n n b b /
「流山市少年野球連盟北部地区」 カリフ大会の項目に書き込み

参加チーム 抽選会（毎年10月中旬から11月初旬に開催）に出席を持って決定する。なお、当大会の抽選会には、当該チームの関係者が必ず出席することが義務付けられています。他チームへの委託及び代理は、この大会に限っては一切認められません。抽選会の後ブロック内での打ち合わせがありますので、チームの代表者、監督、コーチ、マネージャーなど詳しく予定の把握できる人の出席をお願いします。この点はくれぐれも注意してください。

開会式 決勝トーナメント大会の出場チームだけによって行うこととする。開始は原則としてAM 9：00も、出場チームはAM 8：30までに受付を済ませる。他の大会との掛け持ちの場合でも、開会式には若干名の出場を義務付けます。また、前回の受賞チームで決勝トーナメント大会に出場出来ないチームでも、優勝旗、準優勝杯などの返還があるため、若干名は必ず出場する。なお、開会式には出場各チームの撮影があるため、プラカードは各チームで必ず持参して下さい。団旗の持込みも大歓迎です。開会式には出場チームの指導者はユニフォームを着用して、必ず最後尾に参列して下さい。

- 付記事項
- ①選手及び指導者（監督及びコーチ2名）は、ユニフォームの着用を義務付ける。ただし、代表者、スコアラーはこの限りではない。ベンチ入りの指導者は5名まで。選手と指導者のユニフォームには必ず背番号をつけ、主将は10番、監督は30番、コーチは28番と29番とする。
 - ②ユニフォーム着用の指導者は、ランナーコーチに立つことが出来る。
 - ③選手及び指導者は必ず帽子を着用する。金属のついたスパイクは禁止。ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチ（選手）ともに着用する。捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。
 - ④冬期間の大会でもあり、審判員及び大会役員が認めた場合に限り、試合中にジャンパー、グランドコートの着用が許される。
 - ⑤応援者の汚い野次や言動に対しては、大会役員及び当該審判員は直ちに注意を促し、改まらない場合は退場させる権限を持つ。
 - ⑥指導者は選手の健康管理には十分気をつける。試合中の怪我や病気については、基本的には当該チームで対処し、応急処置を施してください。
 - ⑦リーグ戦及び決勝トーナメント大会に於いては、各チームは積極的にグランド整備や試合の準備に協力して下さい。
 - ⑧グランドでの駐車については、所定の場所以外は他人の迷惑となりますので、とくに注意してください。なお、本会場では、出場各チームは本部役員駐車場には駐車はご遠慮ください。
 - ⑨**ベスト4以上に進出したチームは、最終日の閉会式及び受賞したチームの団体写真1枚と、受賞スナップ写真・準決勝戦以上の試合でのスナップ複数枚の提出を義務付ける。**

提出先はお手数ですが山田まで郵送でお願い致します。※〒277-0034 柏市藤心4-6-14 山田 晃一

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 役員

令和元年11月改選

会長	山田 晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長	青木 誠	野田市少年野球連盟元会長
"	藤井 豊務	柏市少年野球連盟役員
"	平田 宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納 貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部部長兼務		
事業部長(事務局総括)	小泉 博康	流山市少年野球連盟役員
事業部副部長	八鍬 昌次	流山市少年野球連盟役員
審判部副部長	松本 秀樹	流山・江戸川台フェニックス
運営委員	内田 欽也	野田市少年野球連盟役員
"	山本 拓	野田市少年野球連盟役員
"	池田 進一	柏市少年野球連盟役員
"	柿崎 稔	柏市少年野球連盟役員
"	小田部 英彦	柏市少年野球連盟役員
"	濱田 健	柏市・松葉ニューセラミックス
"	鈴木 三郎	柏市少年野球連盟役員
"	西ヶ迫 勝宏	流山市少年野球連盟役員
"	豊田 穂	流山市少年野球連盟役員
"	龜田 成美	流山市・流山ホークス
"	我妻 和憲	松戸市少年野球連盟役員
"	内山 淳	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	柴田 清光	松戸市少年野球連盟役員
会計監査役兼務		



第39回大会収支明細

収入の部

大会参加費	@5000×68チーム	340,000
前回大会繰越金		59,803
収入合計		399,803

支出の部

大会運営費		88,413
決勝トーナメント用ボール代		41,580
審判手当(68名×500円)		34,000
役員ほか		10,000
賞状・トロフィー代		99,783
賞状		20,000
トロフィー代		79,783
資料代（冊子データ処理）		120,000
編集代		20,000
冊子（データ処理）		80,000
冊子プリント代		20,000
事務経費		4,973
ブロック分け抽選会		2,460
決勝トーナメント抽選会		2,513
会議費		40,000
打合せ会議費（ブロック）		24,000
打合せ会議費（決勝トーナメント）		16,000
支出合計		353,169

※打合せ会議費の中に大会期間中の昼食を含んであります

※収入 399,803円－支出 353,169円 = 46,634円 は、第40回大会へ繰り越します。

会計担当 小泉博康

小泉会計担当から提示されました、第39回カリスマレス大会の会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。 令和2年3月20日

会計監査担当

柴田清光



MEMO

Forever Glory Days!

嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！



全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

KO 株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-27-7（軟式野球会館） ☎03-5474-0741

◆本社：TEL06-6453-5981 ◆中部支店：TEL052-783-0825

◆東京サッカ一事業部：TEL03-5474-0741 ◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!

●松戸 ●柏 ●我孫子 ●野田
●流山 ●鎌ヶ谷 ●白井 ●印西



ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F TEL:04-7143-4021 FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
(一人あたり2,500円から7,000円)

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
(一人あたり3,500円から)

●NER企画のスタンス●

- 1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。
- 2,一枚の写真の中で主役は一人!
- 3,子供たちの表情を重視します!
- 4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・

イベント・

その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

NER企画

お問い合わせは
TEL&FAX

04-7197-0115



新入部員募集

流山クラブボーイズ中学には、毎年、各地域の少年野球連盟から多くの少年達が入部し活躍を続けています。

そして、卒団生の中には甲子園で活躍した選手やプロ野球選手になった選手もいます。

流山クラブボーイズ中学部では、硬式野球の基本から十分な指導が受けられ、一年生から練習試合を通じて野球の面白さ、楽しさが思いっきり体験できます。みなさん是非一度、流山クラブボーイズに見学・体験にお越し下さい！！

主な進学先

天理高校	花咲徳栄高校	専修大松戸高校
習志野高校	市立柏高校	安田学園高校
木更津高校	早稲田実業高校	西武台千葉高校
東葛飾高校	県立柏高校	東洋大牛久高校
浦和学院高校	帝京高校	流通経済柏高校
春日部共栄高校	二本松学舎高校	常総学院高校
聖望学園	日大豊山高校	埼玉栄高校
市立船橋高校	関東第一高校	他

見学・体験大歓迎！

江戸川河川敷グランドH面にて練習を行っています。

※試合等で不在となるケースもございますのでHP上
若しくは代表までお問合せ下さい

主な戦績

- 春季全国大会 出場12回
- 全国選手権大会 出場14回（ベスト4=2回）
- ジャイアンツカップ 出場3回（ベスト8=1回）
- 関東大会 出場19回（優勝1回、準優勝1回）
- 東日本大会 出場17回（優勝1回、準優勝1回）
- 関東ボーイズリーグ大会（準優勝1回）

連絡先

代表 和田 勉 080-8844-0726

副代表 五関 悅朗 090-5327-4037



URL <http://nagareyamaboyz.jp>

※チームのスケジュールは、ホームページ上から確認できます。
また、お問合せもホームページ上からお問合せ可能です。



公益財団法人
日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

旬をつくる、カリフの麺。



株式
会社 カリフ

柏市旭 4-11-8
☎ 04-7147-9691